

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 3 学期 | Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? 【知】S+V【知覚】+O+C【現在分詞, 原形不定詞】, S+V【使役】+O+C【原形不定詞】, S+V+O,+O; [if などの節]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】eスポーツやeスポーツの利点について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主】eスポーツやeスポーツの利点について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して | 【題材内容】 世界中の若者の中で人気が出てきているeスポーツの実況中継 【言語材料】 S+V【知覚】+O+【現在分詞, 原形不定詞】, S+V【使役】+O+C【原形不定詞】, S+V+O,+O; [if などの節] 【言語の働き】 質問する, 理由を述べる, 意見を言う, 説得する, 発表する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 | |
| | Lesson 10 Being Different Is Beautiful 【知】wish+仮定法過去の節, 仮定法過去のas if節, 仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】ヨシダナギさんについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主】ヨシダナギさんについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 | 【題材内容】 写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事 【言語材料】 wish+仮定法過去の節, 仮定法過去のas if節, 仮定法過去のif節 【言語の働き】 説明する, 仮定する, 意見を言う, 発表する, 報告する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 | |
| | | | | | | | | | | | 合計 | |
| | 期末考査 | | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | 84 |
| | | | ○ | ○ | | | ○ | | | ○ | ○ | 1 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|
| 3 学 期 | Lesson 9 Flying after Her Dreams 【知】仮定法過去完了、分詞構文（過去分詞）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理的に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主】1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなど | 【題材内容】 アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記 【言語材料】 譲歩を表す副詞節, no matter how 「where, when」 (※要修正反映) ; 仮定法過去完了、分詞構文 (過去分詞) 【言語の働き】 質問する, 説明する, 理由を述べる | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 10 | |
| | Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots 【知】過去完了進行形, be+to 不定詞, 未来完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、情報や自分の考えなどを論理的に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主】各種のロボットやロボットの労働内容 | 【題材内容】 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文 【言語材料】 過去完了進行形, be+to 不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形] 【言語の働き】 説明する, 発表する, 提案する, 予想する, 意見を述べる, 理由を述べる | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 10 | |
| | 期末考査 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 | |
| | | | | | | | | | | 合計 | 104 |

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語 科目：論理・表現 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～8組
 教科担当者：(1,2組：河野、小川、岡田) (3,4組：坂田、小川、岡田) (5,6組：小川、坂田、岡田) (7,8組：河野、小川、岡田)
 使用教科書：(MY WAY Logic and Expression I)

教科 外国語 の目標：
【知識及び技能】 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】 授業を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを表現したりし、適切に伝えたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】 授業を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを表現したりし、適切に伝えたりしている。

| 【知識及び技能】 | | 【思考力、判断力、表現力等】 | | 【学びに向かう力、人間性等】 | |
|--|--|--|--|--|--|
| 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 | 授業を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを表現したりし、適切に伝えたりしている。 | 他人を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを表現したりし、適切に伝えたりしている。 | 他人を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを表現したりし、適切に伝えたりしている。 | 他人を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを表現したりし、適切に伝えたりしている。 | 他人を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを表現したりし、適切に伝えたりしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 | |
|-------------|--|--|---|-------------------|---|------|---|---|---|------------------|---|
| | | 聞 | 読 | 話 （ 発 言） | 書 | | | | | | |
| 1 学 期 | A Lesson1 【知識及び技能】 身近な（be動詞）や（一般動詞）の知識を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 初対面のあいさつをしたり、自己紹介のスピーチをする。 【学びに向かう力、人間性等】 学校の場所や自分自身のことについて発表する。 | 初対面のあいさつを通して会話の基本を学ぶ。また、現在形、特に be動詞 の知識を確認する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| | B Lesson2 【知識及び技能】 過去形（be動詞、一般動詞）の知識を確認する。現在進行形、過去進行形の知識を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 好きだった教科について会話したり、確認問を前する記事の原稿を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 好きだった教科について発表したり、確認問について書く。 | 好きだった教科についての会話や部活動を紹介する記事の原稿を書く作業を通して、ライティングの基本を学ぶ。過去形（be動詞、一般動詞）の知識を確認する。現在進行形、過去進行形の知識を確認する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| | 定期考査 | | | | | | | | | | 1 |
| | C Lesson3 【知識及び技能】 基本時制（現在形、過去形、未来形）について確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 すでに学ばれたときになぞことを使ったり、聞き手の返事をひく方法を用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 週末の予定について伝えたり、好きな絵について発表する。 | 週末の予定の会話や好きな絵についての発表を通して、基本時制について確認する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| 2 学 期 | D Lesson4 【知識及び技能】 完了形・現在分詞・過去分詞の概念を確認し、その使いの知識を確認する。また、過去に使えるように使って、適切な文を作ったり、表現したりする。 【思考力、判断力、表現力等】 経験を確認し、初めや経験を確認する。これまでの経験や初めての経験について発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 レポートで学ぶときの必要な知識を確認し、レポートを作成し、日本の文化についてのレポートを書く。 | レストランで料理を注文するいろいろな表現や日本の食文化を紹介するレポートの作成を通して、完了形表現を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| | 定期考査 | | | | | | | | | | 1 |
| | E Lesson5 【知識及び技能】 助動詞と受動態について確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 指示や依頼を表現したり、(現在・過去) → (結果) の関係を示すようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 観光の目的・地域の発展や観光客のキャラクターについて伝えたり、発表する。 | 道案内や地域の特徴やマスコットキャラクターについての発表を通して、助動詞や受動態の使い方を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| | F Lesson6 【知識及び技能】 不定詞を使って表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 手紙やメールで使えるような表現を学び、親戚から友達へメッセージを書くようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 親しいおみやげについて伝えたり、発表する。 | 買い物、手紙、メールで使えるいろいろな表現を学び、不定詞を用いて表現する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| 3 学 期 | 定期考査 | | | | | | | | | | 1 |
| | G Lesson7 【知識及び技能】 動名詞、分詞による動詞修飾、分詞構文について確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 あいづちを打ったり、確認を示すようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 文法や語彙について会話したり、簡単な確認問を前する発表をする。 | 動名詞、名詞を修飾する分詞、さらに分詞構文を用いてスポーツの動作を説明する表現を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| | H Lesson8 【知識及び技能】 比較（比較級、最上級、同等比較）について確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の意見を受け入れてから、主張したり、意見を述べたりできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 紙の本と電子書籍のよさについて会話したり、科学技術製品を紹介する記事の原稿の書き方を学ぶ。 | 比較（比較級、最上級、同等比較）を使って紙の本と電子書籍のよさについて会話したり、科学技術製品を紹介する記事の原稿の書き方を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| | 定期考査 | | | | | | | | | | 1 |
| 3 学 期 | I Lesson9 【知識及び技能】 関係代名詞（who, which, that）の用法、目的格、目的格の前置詞、whose, what について確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 質問でいろいろな表現や疑問の形で伝えたりできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 身体具合について会話したり、健康について自分の考えを発表できるようにする。 | 関係代名詞を使って病院での会話をしたり、健康について発表する仕方を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| | J Lesson10 【知識及び技能】 関係副詞や関係法を用いて確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 SNSについて会話したり、疑問文を書くようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 SNSについて会話したり、疑問文を書くことができるようにする。 | 仮定した状況、願望について考え、気持ちなどを伝え合うことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 4 |
| 定期考査 | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | | | | | | | 44 | |

| | | | | |
|-----|--------------|-----|---------|------|
| 教科名 | 英語科 | | 科目分類 | 必修 |
| 科目名 | コミュニケーション英語Ⅱ | | 単位数 | 2 単位 |
| 学年 | 3 学年 | 担当者 | 鈴木宏、高橋等 | |

| | |
|--------------|--|
| 教科書 使用副教材 | Rapid Reading Level2と3(美誠社) Aim High Level2と3(美誠社) Power Frame 850(桐原書店) |
|--------------|--|

| 学期 | 月 | 予定時数 | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 |
|-----|----|-----------|---|--|---|
| 一学期 | 4 | 中間 12 | Power Frame 850 Lesson1[文の種類] Lesson2[文系と動詞] Rapid Reading 2 / Aim High 1 | 文の種類・要素をまず理解し、英語の基本となる句型、時制を学ぶ。また、適宜、リスニングやペアでのアウトプットの練習を行い、実際に使えるようにする。 | 【知】定期考査、小テスト 【関】授業への参加、提出物の提出状況 【技】音読 【思】提出物の内容、定期考査 |
| | 5 | | 期末 12 | Power Frame850 Lesson3[時制] Lesson4[完了形] Rapid Reading 2 / Aim High 1 | 時制の基本的な使い方から、haveをプラスしての別の使い方など、入試に必要な幅広い知識を身につける。また、適宜、リスニングやペアでのアウトプットの練習を行い、実際に使えるようにする。 |
| | 6 | 7 | | Power Frame850 Lesson5[助動詞] Lesson6[受動態] Rapid Reading 3 / Aim High 2 | 助動詞の基本的な使い方から、haveをプラスしての別の使い方など、入試に必要な幅広い知識を身につける。また、適宜、リスニングやペアでのアウトプットの練習を行い、実際に使えるようにする。受動態は中学校から学ぶ基本事項にも関わらず、高校文法において弱点になるところ。暗記ではなく理解まで深める。 |
| 二学期 | 9 | 中間 14 | Power Frame850 Lesson7[不定詞] Lesson8[動名詞] Lesson9[分詞] Rapid Reading 3 / Aim High 2 | 動名詞と不定詞の比較を通して使い方と活用を学ぶ。また、どんな動詞の語尾に動名詞か不定詞のどちらが使えるのか、あるいはどちらも使えるのか覚える。分詞と動名詞の違いや分詞の意味を形容詞と副詞の性質と併せて理解する。リスニングをしてディクテーションや音読を行う。 | 【知】定期考査、小テスト 【関】授業への参加、提出物の提出状況 【技】音読 【思】提出物の内容、定期考査 |
| | 10 | | 11 | 12 | Power Frame850 Lesson7[不定詞] Lesson8[動名詞] Lesson9[分詞] Rapid Reading 3 / Aim High 2 |
| 三学期 | 1 | 学年末 20 | | | |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |

| | | | | |
|-----|--------------|-----|-------------------|------|
| 教科名 | 英語科 | | 科目分類 | 必修 |
| 科目名 | コミュニケーション英語Ⅲ | | 単位数 | 3 単位 |
| 学年 | 3 学年 | 担当者 | 岡田一郎、榊原幸平、鈴木宏、高橋等 | |

| | |
|--------------|--|
| 教科書 使用副教材 | Power On English CommunicationⅢ(教科書) Power On English CommunicationⅢWORKBOOK(副教材)(東京書籍) ALL EARS(美誠社)Target1900(旺文社) |
|--------------|--|

| 学期 | 月 | 予定時数 | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 |
|-----|----|----------|-------------------------------------|--|---|
| 一学期 | 4 | 中間 18 | Lesson1~7 ALL EARS Lesson1~4 | Lesson 1-5は速読指導 ・絵文字について学ばせる。 ・オリンピック旗について学ぶ。 ・動物歯科医について学ぶ。 ・初対面時の重要性について学ぶ。 ・プロサーファー選手について学ぶ。 ・ハロウィーンの起源について学ぶ。 ・イグノーベル賞について学ぶ | 【知】定期考査、小テスト 【関】授業への参加、 提出物の提出状況 【技】音読 【思】提出物の内容、定期考査 |
| | 5 | | | | |
| | 6 | 期末 18 | Lesson8~10 ALL EARS Lesson5~8 | ・写真家、松本紀生さんが写真家になるまでの道のりと現在の生活について学ぶ。 ・紅茶がイギリスに伝わる過程とイギリスとイギリスに関わる国々の歴史への影響について学ぶ。 ・人が生きていくために必要な水と砂漠に住む動物たちの生態について学ぶ。 | 【知】定期考査、小テスト 【関】授業への参加、 提出物の提出状況 【技】音読 【思】提出物の内容、定期考査 |
| 二学期 | 9 | 中間 21 | Lesson11~13 ALL EARS Lesson9~12 | ・モーツァルトやビルゲイツの例を通して、1万時間の法則とはどのようなものかについて学ばせる。 ・奴隷のための地下鉄道とはどのようなものかについて学ばせる。 ・英語の語いの歴史と語い形成の仕組みについて学ばせる。 | 【知】定期考査、小テスト 【関】授業への参加、 提出物の提出状況 【技】音読 【思】提出物の内容、定期考査 |
| | 10 | | | | |
| | 11 | 期末 18 | Lesson14~15 ALL EARS Lesson13~16 | ・世界一貧しい大統領と呼ばれたホセ・ムヒカ元ウルグアイ大統領の生活と意見から世界的問題である環境問題について考える。 ・ペットとしての犬と動物としての犬について違いを考える。 | 【知】定期考査、小テスト 【関】授業への参加、 提出物の提出状況 【技】音読 【思】提出物の内容、定期考査 |
| 三学期 | 1 | 学年末 3 | まとめ総合問題 | 2学期末までの範囲の総まとめ | 【知】定期考査、小テスト 【関】授業への参加、 提出物の提出状況 【技】音読 【思】提出物の内容、定期考査 |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |

| | | | | |
|-----|-------|-----|--------------|------|
| 教科名 | 英語科 | | 科目分類 | 必修 |
| 科目名 | 英語表現Ⅱ | | 単位数 | 2 単位 |
| 学年 | 3 学年 | 担当者 | 池田俊彦、鈴木宏、高橋等 | |

| | |
|--------------|---|
| 教科書 使用副教材 | Vision Quest English Expression II Ace(啓林館)・Vision Quest WORK BOOK(啓林館) New Frame 650 (桐原書店) |
|--------------|---|

| 学期 | 月 | 予定時数 | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 |
|-----|-------------|-----------|---|---|---|
| 一学期 | 4 | 中間 12 | Lesson12・13 [制服に賛成? 反対?] 数量を表す語句/名詞を修飾する語句 | 文の種類・要素を理解し、英語の基本となる文型、時制を学ぶ。 また、適宜ペアでのアウトプットの練習を行い、実際に使えるようにする。 | 関心・意欲・態度→学習活動への取り組み、課題・提出物の状況、ノート・プリント等 知識・理解→定期テスト、小テスト |
| | 5 | | Lesson14・15[思い出の写真] 関係代名詞/関係副詞 | | |
| | 6 | 期末 12 | Lesson15 [思い出の写真] 関係代名詞/関係副詞 | 入試文法の中で一番差になる比較と関係詞の領域を丁寧に理解納得させる。比較と最上級の使い方と考え方、また関係副詞と複合関係詞の活用の仕方を身につける。仮定法と直説法の使い方と区別、また文法としては後回しになってしまう基本的な品詞を改めて見直し、英語を総合的に捕らえられるようにする。何度も反復させて聞かせ、英文が脳裏に定着させるように励む。 | 関心・意欲・態度→学習活動への取り組み、課題・提出物の状況、ノート・プリント等 知識・理解→定期テスト、小テスト |
| | 7 | | Lesson16・17 [科学技術の使用] 副詞節 | | |
| 二学期 | 9 | 中間 14 | Lesson16・17 [科学技術の使用] 副詞節 | 動名詞と不定詞の比較を通して使い方と活用を学ぶ。また、どんな動詞の語尾に動名詞か不定詞のどちらが使えるのか、あるいはどちらも使えるのか覚える。分詞と動名詞の違いや分詞の意味を形容詞と副詞の性質と併せて理解する。比較級と最上級の使い方、部分否定の解釈の仕方を深める。 | 関心・意欲・態度→学習活動への取り組み、課題・提出物の状況、ノート・プリント等 知識・理解→定期テスト、小テスト |
| | 10 | | Lesson18[犬派? 猫派?] 原級/比較級 Lesson19・20 [インターネットの問題点] 部分否定/準否定 | | |
| | 11 | 期末 12 | New Frame 650演習 | 助動詞の基本的な使い方から、haveをプラスしての別の使い方など、入試に必要な幅広い知識を身につける。また、適宜、リスニングやペアでのアウトプットの練習を行い、実際に使えるようにする。受動態は中学校から学ぶ基本事項にも関わらず、高校文法において弱点になるところ。暗記ではなく理解まで深める。 | 関心・意欲・態度→学習活動への取り組み、課題・提出物の状況、ノート・プリント等 知識・理解→定期テスト、小テスト |
| | 12 | | | | |
| 三学期 | 1 2 3 | 学年末 20 | | | |